

昭和興産タイランド



山田和彦社長

昭和興産タイランド(山田和彦社長)は、化学品、エレクトロニクスや食品分野のトレーディングを中心に事業を展開している。取り扱う商材を増やして事業拡大につなげるとともに、グループ連携の深化で周辺国での開拓も強化し、さらなる成長を目指す。

同社は化学品や合成樹脂、エレクトロニクス関連や食品分野などで幅広い商材を取り扱い、さまざまなマーケットをバランスよくカバーしている。新型コロナウイルス感染症拡大の影響から一部商品の需要は落ち込んだ一方、世界的なテレワークの導入でネット通信やパソコン関連などは堅調に推移した。

設立から23年が経過し、これまで確立した販路を生かした事業拡大を図るとともに、持続的成長に向けた新たな施策も講じている。その一環として、工場向け簡易設備

周辺国開拓で成長さらに

監視システム「e-FUJIYA MA」の販売を開始した。機械装置を無線センサーで監視する簡易システムで、タイでも操業の安定化や工場作業の自動化につながるシステムとして潜在需要が見込まれ、拡販を狙う。

さらに、発泡樹脂用材料メーカー、接着材料メーカーとそれぞれ新たな代理店契約を締結し2020年内にタイ市場での本格的な投入を予定している。商品群の拡大では、今後、インドや中東など投入先の多様化を積極的に進める方針。

周辺国市場の開拓も重点テーマ。昭和興産タイランドの駐在員事務所としてベトナム・ホーチミンにオフィスを開設、今年営業を開始した。製造業の工場新増設が相次ぐ同国で、現地密着型の活動を展開し、攻勢をかける。

取り巻く環境が急変するなか、アフターコロナとしてサブライチエーションの変化が想定される。ベトナムのほか、グループのインドネシア拠点との連携も強化し、市場のトレンドに対応していく。

また、中・長期的な視点で、電気自動車、ステイカルや5Gといった分野での商機も探索する。